

## 1. 経営方針

(1) 当社を取り巻く経営環境は、各事業分野でデジタル化への技術革新が一層進むとともに、グローバルかつボーダーレスの企業間競争がますます激化し、非常に厳しいものとなっております。一方では、グループ企業全体の業績を重視する連結決算主体の時代を迎えるなど、企業社会のあり方も大きく変貌する状況となっております。

当社におきましても、21世紀に向け国際的な優良企業を目指し、またグループ全体の構造改革をねらいとした、中期計画を遂行しております。本中期計画の課題の中、事業方向づけの明確化と赤字事業部門および赤字子会社の整理については今期でほぼ完了いたします。

また、最重要課題である連結ベースでのキャッシュフロー改善についても、当中間期において大幅に好転し、通期および平成13年3月期においてさらに向上する見通しです。ここで創出したキャッシュフローは、全事業分野にわたってデジタルイメージング事業分野への構造転換に投入していく所存であります。

特に、情報機器部門においては、市場のデジタル化やネットワーク化の進展に対応した事業転換を進めており、高速デジタル複写機市場では、ネットワーク先進国の米国において当社製品が高く評価され、業界トップグループに位置しております。この販売およびネットワークサポートのノウハウを日本や欧州等他地域へ水平展開を図ってまいります。

また、新規のデジタルイメージング分野であるインクジェット事業分野、電子材料事業分野および光学事業分野については、大きく市場成長が見込まれております。これらの事業分野を今後の重要事業と位置づけ、経営資源の積極的な投入を図ってまいります。

これらの経営施策遂行により、内外でコニカグループ全体の存在感を示し、感動創造を発信し続ける企業グループとして、さらに尽力してまいります所存でございます。

(2) 株主に対する配当金につきましては、企業の収益状況との対応をはかりながら、安定的な

配当の継続を行うこととしており、永年にわたり1株につき年間10円の普通配当を継続し、株主への利益還元に努めてまいりました。また今後も、中期計画の推進により多角的な経営改善、財務体質の強化を図り、利益確保、内部留保の充実に努めてまいります所存であります。

なお、期末配当金につきましては、中間配当金と同様1株につき5円(年間10円)を予定しております。